

神の道化師、フランチェスコ (1950)

FRANCESCO, GIVLLARE DI DIO
THE FLOWERS OF ST. FRANCIS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア
色彩 B&W
時間 85分
初公開日 1991/03/16
公開情報 大映
映倫 G

リバイバル 2023/12/22 [コピーポア・フィルム=lesfugitives] (デジタル・リマスター版)

【解説】

ゼフィレッリの「ブラザー・サン シスター・ムーン」などで知られる、13世紀の聖書の放浪の布教物語を、左翼的政治思想と神への信頼が心の中で幸福な結婚をしていた稀有の人、ロッセリーニが奔放にかつ気高く描いた、真のネオ・レアリスモ映画。これを観て、彼の転向を云々する人がいたとすれば、そいつの“主義”など眉ツバものだ。なぜなら、清貧と平等を旨として共同生活を送るフランチェスコ教団の生き方こそ（お布施頼りの暮らしではあるが）原始共産制そのもの、実に自由で解放されているからだ。皆が住む家をロバに占拠され、サンタ・マリア・デリアンジェリという地域に移り住む所から始まる映画は、彼らが再びそこを去るまでの10の挿話で構成されている。特にブラザー・ジネプロという狂言廻しの人物の話（布教に行った先で僧衣を恵んで、裸で戻ってきたりする）が滑稽であると同時に感銘深い。

【クレジット】

監督 ロベルト・ロッセリーニ Roberto Rossellini
製作 ジュゼッペ・アマト Giuseppe Amato
脚本 ロベルト・ロッセリーニ Roberto Rossellini
フェデリコ・フェリーニ Federico Fellini
撮影 オテット・マルテッリ Otello Martelli
音楽 レンツォ・ロッセリーニ Renzo Rossellini
エンリコ・ブオンドン
出演 ナザリオ・ジェラルディ
アルド・ファブリッツィ Aldo Fabrizi